



奥山に財産がある、と考えていた

		契約件数(件)	契約面積(ha)	造林面積(ha)
分収造林	香住区	8	233	198
	村岡区	25	809	703
	小代区	16	627	523
	計	49	1669	1425



海と暮らす、香住



文化香る町、村岡



美しい里山、小代

WONDER KAMI より抜粋

723億円の負債を負って県農林機構が破綻した。戦後、荒れ果てた山を国、県の施策で再生しようと始められた



やまもと けんし 山本 賢司 議員

村の財産、分収造林はどうなる
有益契約地分は全額契約者に

分収造林事業。村では炭焼きで、戦後の燃料を供給してきた山を、子孫の財産として残そう、50年後にと分収造林に協力してきた。その後、長伐期化として80年、分収率も2割下げて契約変更した。破綻した、解約です、とされ、事業は継続す

るとも言われるが、村人は理解できていないのだがどうする。
町長 昨年、6月28日に県主催で所有者説明会が49地区を対象に開かれました。県は、①収益が見込める契約地は林業事業体により計画、国庫補助金等で間伐・主伐し、事業収益の全額が所

有者に還元される。②収益が見込めない契約地は公的管理に移行するとしており、実務は(仮称)県森づくり支援センターが行うとしています。県には、700億円は県民の金、そもそも、木材輸入自由化が問題、町に負担がないようにと申しました。



本町の魅力発信とブランド戦略について問う。人口減少社会の中で、町はどの分野でも選ばれる努力をしなければなら



なかむら たかし 中村 崇志 議員

香美町、一番の強みは何
旧3町の特色ある魅力

ない。しかし、本町の魅力は十分に伝わり選ばれる町になっているだろうか。また、デジタル化が当たり前となり、情報戦の時代である。町長は明確なブランドコンセプトを持ち、本町が選ばれる町になれているか何う。

町長 本町、一番の魅力は、広大な地域と香住・村岡・小代それぞれ特色ある魅力です。観光客のターゲットは交通アクセスの観点から西日本、関西圏を中心として設定しております。コンテンツ面は、かに料理やスキー場等、従来の観光資源に加え、

キャンプ場、RVパーク、トレイルランニング、山陰海岸ジオパーク遊覧等の体験型観光にも広く観光コンテンツの充実を図っております。また、より選ばれる町になる為の取組を観光連絡協議会や事業者等と連携し、町として助力してまいります。

